



夫木和歌抄

巻第一

1765
1
八割四



118



一一六

3

明治二十九年三月三日
圖書刊行會氏寄贈

門例4
1765
卷 1-26

夫木和詩歌³ 春部一⁴

春部一⁴

題⁴

歲⁵ 歲門之去 朔日 元日宴^宴 立春

初春 子日 卯日 若菜

白馬 御市會^齋 賭射

ツメル

四字下



歌³ 三下

歲門之春⁴

三行分ル

寶 室治二年 仙洞百首 歲門^{立春}

民部卿為⁶ 御



新續古今雜上⁶

わさりりさけ... 若

三位知⁶ 御

ほ... 若

光惠院⁶ 今三品のみ

わさりのと... 若

常盤井⁶ 今を改大后

若... けり

夜更のつらさ

新6 月 数もす 一

寛元元年 帖題

新5 月 猶 けり

民部卿

新6 月 一

後朝

新6 月 一

隆卿

新6 月 一

永く百年一首 首 権馬

過 邊 一

仲実の長

せ 月 ね 老

俊頼

同 年 たら

左京大夫

同 一

文永八年 毎日一首 歌

民部卿

まことまこと年向ぬ音のまよふことれぬ事なりと
言はるるまこと
指宿正公朝

わづむの年れぬこといふことれぬ事なりと
言はるるまこと
前部卿
お民の指宿卿

山家下
年へる月もさへりて類もさへりしことれぬ事なりと
言はるるまこと
西行上人

人そとにいひたれぬ事なりと
言はるるまこと
に年へのりしこといふことれぬ事なりと
言はるるまこと

あつたういひてまこと

紀勢

六帖
年のうらにまこといふことれぬ事なりと
言はるるまこと

兵衛督
いふことれぬ事なりと
言はるるまこと

いふことれぬ事なりと
言はるるまこと

いふことれぬ事なりと
言はるるまこと

中物言おつ
いふことれぬ事なりと
言はるるまこと

萬千
月よあはれいふことれぬ事なりと
言はるるまこと

文治六年廿八日
いふことれぬ事なりと
言はるるまこと

風春上
三神のまのひつりかみゆかかかどつらつらう人々
後法性
後徳大寺左

日
しつたの神もあまのつらたにまのつらつらうと白うし
三條左大臣
あまのつらた

日
神もあまのつらたにまのつらつらうと白うし
お中納言左大臣
あまのつらた

日
かみまの娘のつらたにまのつらつらうと白うし
后宮
夫俊成御
あまのつらた

風春上
日
九つらつらうをよひつたの神とつらつらうと白うし
あまのつらた

かは竹
日
川舟のまのつらたにまのつらつらうと白うし
お中納言左大臣
あまのつらた

新勅賀
元日
神のまのつらたにまのつらつらうと白うし
お中納言左大臣
あまのつらた

いは
日
かみまの娘のつらたにまのつらつらうと白うし
お中納言左大臣
あまのつらた

日
しつたの神もあまのつらたにまのつらつらうと白うし
お中納言左大臣
あまのつらた

日
かみまの娘のつらたにまのつらつらうと白うし
お中納言左大臣
あまのつらた

日月まじりのよふきつ

三帝 孝義帝 六年正月朔日

義泰の衣受書る佳瑞

家業之志 源仲心

とらへらり人の言ひ

つひと今日合入白雲

三位経法

まきみ **絶** ならびに

ふむ百の合迷仁え年

野文太右

九種 九種 **絶** 元 寛元二年六月廿七日

寛元二年六月廿七日

初六 乙卯らむらひのけ

初日

甲のうはまらぶら

先後

軒 松

初六 **今** 乙卯らむらひのけ

乙卯らむらひのけ

乙卯らむらひのけ

乙卯らむらひのけ

文永九年毎月一首一歌

臣部御
内侍御
御

年のころよはらいわらちわらとわらむのころよわらとわらむわらとわらむ

現在
第六

初日のころよに 夜半のころよに

とわらつらわらかわらのころよに 初つきのころよに

武抄五えととといと吉野川のわたるに 圓一撫人とと

ままじまのまやまけまとまらまれまとまてまて

有右かつ右林右切右皇右者右又右清右陽右京右天右皇右と右と

れりとりとりににみみつつりりれれとととととと

魚魚ちち又又りりとととととととととととと

かりかりとととととととととととととと

そそとととととととととととととと

りりとととととととととととととと

るるりりとととととととととととと

後後のの影影

永永久久四四年年百百首首ええ日日

二二条条大大皇皇女女文文妃妃はは

事事をを鏡鏡事事をを鏡鏡事事をを鏡鏡

まのしん中

風春上

思ひ梅のつぼみは人のおまへん

二文字

歌

天衣の雲平にたておまへん

伊の十二首えののくぬきに

あふりあめつらうらよあはれ

つらと梅花とわらふ所に

歌

4 元日宴

三行

兼

さ百敷文合え日宴のたゆま

飛うとつりのつらうらそつら

お中納言

玉春上

まのしん中

大倉有造

物まのしん中

後二位有造

作のしん中

正三位有造

ちちのしん中

尚

百敷のしん中

ちちのしん中

三文字

業(三)の(三)か(三)り(三)つ(三)れ(三)ま(三)に(三)判(三)え(三)右(三)弁(三)の(三)歌(三)

ふ(三)ま(三)い(三)し(三)ら(三)ん(三)な(三)ら(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

法橋顯昭

い(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

三言

ゆ(三)た(三)陳(三)え(三)け(三)み(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

さ(三)え(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

り(三)り(三)ら(三)陳(三)え(三)け(三)み(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

こ(三)り(三)ら(三)陳(三)え(三)け(三)み(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

と(三)と(三)わ(三)り(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

ひ(三)ら(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

万(三)葉(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

此(三)授(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

ハ(三)優(三)け(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

は(三)業(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

業(三)乃(三)内(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

う(三)ら(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

さ(三)ら(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

さ(三)ら(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

さ(三)ら(三)し(三)ら(三)ん(三)の(三)事(三)申(三)す(三)に(三)て(三)又(三)寫(三)の(三)歌(三)

三行下

ふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと
に曲書豊樂書
凡作よきやとてそをたつとてふとふとふとふとふとふとふと
衆一方中へとてふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと
もふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと
つとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと
ゆるいふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと
ゆるいふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと

三行下
三行下
三行下
三行下
三行下

お集
弟中初云通房や
匡
御

まふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと

日々来ふ合古来ふ
歌
後

新拾春上

千の百まあて合
歌
言定
御

まふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと

正三位重子
能御

とわたりも波の氷さけぬん
今
澤

け命判念云忠良
御
東方朔傳朔日即從東

方来鵲頌風而立是以知東響鳴也云

西暦二年百首
首
大門内大石

とろくのいのちのち平ひまありてくはたすまのぬまの物空

今 千五百首の歌合

大納言通具

とろくりにききあはれぬまの物空

今

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

續千春上

お大納言

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

今おろくりにききあはれぬまの物空

百首の歌合

お大納言

新

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

お大納言

花女院令二京親王歌五十首

大龜御有歌

雲のそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

花女院令二京親王

天のそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

百首歌一時曉時之ままま 後二位歌澄澄々澄

あつむのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

百首歌一時曉時之ままま 寂蓮師

まのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

又十一首歌合合 同同

花女院令二京親王歌五十首

西宮二平歌百首歌 小約後

あつむのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

源師光

あつむのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

百首歌一時曉時之ままま 正二位歌光光

あつむのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

百首歌一時曉時之ままま 殷富門院太太輔輔

あつむのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

あつむのそよめあけわらわらあけのまはれあけ物あけ声あけ

思孫のイ 西の二人

辛未の故書... 御歌 後 攝

西内隠士百首... 御歌 後 攝

冬の夏... 御歌 同イ

治承二年... 御歌 同イ

あひのそこの... 御歌 同イ

清末の... 御歌

辛未の... 御歌 同イ

建長八年... 御歌 同イ

きさく... 御歌 同イ

御集 同イ

美... 御歌 同イ

弘安元年... 御歌 同イ

九... 御歌 同イ

文治元年... 御歌 同イ

あひの... 御歌 同イ

建久元年... 御歌 同イ

美... 御歌 同イ

正治二年... 御歌 同イ

巻... 御歌 同イ

たけの松たけのまつにりや音音を初初今今の都都の都都の都都
治承二年治承二年たけの松たけのまつにりや音音を初初今今の都都の都都の都都

皇太后皇太后を侍侍給給ふ

おぼよきおぼよきををたけの松たけのまつにりや音音を初初今今の都都の都都の都都
とのお池とのお池の松のまつにりや音音を初初今今の都都の都都の都都

祇園社百首三巻

あはれあはれの松のまつにりや音音を初初今今の都都の都都の都都
文永七年文永七年毎毎日日一首一首

民部卿民部卿の御の御座座

年のあ年のあはれはれの松のまつにりや音音を初初今今の都都の都都の都都

三巻の序

兼兼御御座座

乾元二年乾元二年毎毎日日一首一首

兼兼御御座座

弘安元年弘安元年毎毎日日一首一首

兼兼御御座座

治承二年治承二年毎毎日日一首一首

兼兼御御座座

治承二年治承二年毎毎日日一首一首

兼兼御御座座

御集正月百首 花山院以歌

くらみゆきとくまのうらみよきしらべのしらべふみゆき

三巻のりて 全巻思身

美敷いづこも日影なくしらべのしらべとてはかたむね

初巻 三行分り

延喜六年一巻又歌うた合巻の氣流結煙

よきしらべ

梅花香よもかたむねのうらみよきしらべのしらべ

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

同大平一二月廿七日京極消息

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

美作 深き足

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

西河院十百首 後京極殿

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

あまのしらべのうらみよきしらべのうらみよきしらべ

久世百首

あまのしらべ

新編古春上

萬

風

子

初

三

氣

煙

日

有

初

美

昨日
 新千春上
 あらゆるものも
 何首の中
 昨日
 新千春上
 あらゆるものも

風春上
 朱雀
 東後院
 惠慶
 美らきもの
 延喜
 美らきもの
 延喜

第五十一
 第五十二
 第五十三
 第五十四
 第五十五
 第五十六
 第五十七
 第五十八
 第五十九
 第六十
 第六十一
 第六十二
 第六十三
 第六十四
 第六十五
 第六十六
 第六十七
 第六十八
 第六十九
 第七十
 第七十一
 第七十二
 第七十三
 第七十四
 第七十五
 第七十六
 第七十七
 第七十八
 第七十九
 第八十
 第八十一
 第八十二
 第八十三
 第八十四
 第八十五
 第八十六
 第八十七
 第八十八
 第八十九
 第九十
 第九十一
 第九十二
 第九十三
 第九十四
 第九十五
 第九十六
 第九十七
 第九十八
 第九十九
 第一百

歌集巻之白

指中宛云定歌々御

うささのささりのしづみ津津のさしよはしよはしよは

謀 深子の親の歌歌あ合津の春春をを代代の

あつたし香香いいぬぬの香野山山の香香あそあその香香

粟葉 歌集

あの中宛云道房御

あきのうさな水の香香あそあその香香あそあその香香

建保三年一二月長歌可首いよま

慈鎮 和歌

池水のこりの香香あそあその香香あそあその香香

平家宛の歌歌あそあその香香あそあその香香

十事

香紙宛の歌御

あそあその香香あそあその香香あそあその香香

文永十一年一毎一首歌

歌々宛の歌御

うささのささりのしづみ津津のさしよはしよはしよは

康元二年一毎一首中

あそあその香香あそあその香香あそあその香香

あそあその香香あそあその香香あそあその香香

建保四年一毎一首

前中宛云定歌々御

新
第六

わらわのまのりん^{こけ}と^みに^ほつ^りけ^りの^まを^と河^とり^り

寛政二年^{帖題}古^歌

友京伝實の伝

河^らの^ため^らり^しと^まい^しと^して^らお^よう^そめ^りつ^た

宝治元年^歌仙阿十首^歌女合子^歌ま^歌の^歌

わらわのまのりん^{せぬ}と^たま^にの^まい^しと^して^らお^よう^そめ^りつ^た

おきまも^歌

徳立の伝

わらわのまのりん^らと^らも^らり^しと^らま^らい^しと^らあ^らし^てあ^らわ^らり

と^らあ^らり^しと^らな^らる^らし^て

中務大臣^歌十^首の^歌ま^のり^んと^らあ^らし^て

わらわのまのりん^たま^にの^まい^しと^して^らお^よう^そめ^りつ^た

おきまも^歌

徳立の伝

わらわのまのりん^えと^らあ^らし^てあ^らわ^らり

建保四年^歌百首

前中納言^歌定^歌

わらわのまのりん^けと^らあ^らし^てあ^らわ^らり

同日二年^歌百首^歌ま^のり^んと^らあ^らし^て

漢書^歌の^歌ま^のり^んと^らあ^らし^てあ^らわ^らり

同日百首^歌

わらわのまのりん^せと^らあ^らし^てあ^らわ^らり

後二位^歌隆^歌

わらわのまのりん^せと^らあ^らし^てあ^らわ^らり

風雅

何
子
三行か
三行か

文治六年廿社百首百

皇太后長女
御

美日影の
子
白
月
影
の
松
の
影
の
影
の
影

紙園社百首百

千
文
治
十
二
年
廿
社
百
首
百

民
部
卿
御

十
子
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影

文治二年百首

前中納言
卿

白首百首
魚
子
百

子
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影
の
影

家業社百首

清輔卿
臣

家集

妻はいるは神のみむろのはまのはまはとかよはのはりん

大政大臣めのはりん

清原の権輔

家集

引あのはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

拾雅春

老のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

二葉

けいのはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

長のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

家集

ふのはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

二葉

このはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

分のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

二葉

とのはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

なのはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

名のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

家集

子のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

家集ののはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

大のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

家集ののはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

家集ののはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

家集ののはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

赤のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

赤のはりんのはりんのはりんのはりんのはりん

後賴 御執事

散木

まきこ物ものりん旅旅して神のまゝなるまきこ門

三言十

かきかき云浮現よるるはら月日の飛白

しんしんしてあひあひてあひあひてあひあひ

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

かりよえのうらうらあひあひあひあひあひあひ

のたわでよよよのののののののののののののの

ふりてあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

新曆二年の命 上納云信信々

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

あひあひ

二条院定旨

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

兼二人二年甲子百首 注二位皇儲

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

正治二年百首 正二位皇儲

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

堀河院百首 右大臣御

あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ

ふむ百首 兼御

きみ
あしらの松の植
植
かた

萬

新續古春上

題

植め

の

老

せぬ

の

にも

方代

あし

あし

あし

あし

あし

あし

萬二十

万

万

万

万

万

万

万

万

万

万

万

物まのらひのけ
手
あ

河川院の百首
仲え

あしらの松の植
あし

久安百首
前

あしらの松の植
あし

正治二年百首
皇

玉

あしらの松の植
あし

千五百首
皇

あしらの松の植
あし

正治二年百首
皇

あしらの松の植
あし

正治二年百首
皇

あしらの松の植
あし

文治二年百首
皇

あしらの松の植
あし

文治二年百首
皇

あしらの松の植
あし

文治二年百首
皇

あしらの松の植
あし

文治二年百首
皇

あしらの松の植
あし

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまの

忠臣

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

平島

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

卯4日 三行カト

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまの

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまの

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまの

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまの

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

あまの

あまの

あまのよのれまのきりきりあはれはるかにあまのさかすか

お打と御来御印日 後にお下^臣

清くわ御印の柱のついでと御入の年の徳のゆえん

寛元二年言指^{帖題} 氏^部の内家^卿

夫のうらひたごころの御の日とさうて御の御代のみ

文永九年毎日^音中 日イ

みづぬた印打よりさうさうのさうさうさうさうさうさう

日八年毎日^音中 日イ

ふもこのうらひの年のうらひとて御代のをようえん

つらぬ^を 香椎^浦におお

くふこのさうのうらひとてさうさうさうさうさうの春

長氣^{三行分}

神龜元年^{香椎浦}に

大徳^言の流人^御

新勅^旅 白妙の御人おたてあされん

建保三年^所の百首^御 後二位^御

おのの代^野の御代^野の御代^野の御代^野の御代^野

あまの^野の御代^野

春のうらひとてさうさうの御代^野の御代^野

美雅^歌

あまの御代^野の御代^野の御代^野の御代^野

河内院河内百首

巻後

几春上
堀百若菜
袖中十九

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

詠人の国をめぐりて
詠人の国をめぐりて
詠人の国をめぐりて
詠人の国をめぐりて

月

賤 澄源法師

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

百首中 若菜

拾中綱 若菜

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

正治二年百首

五林院丹波

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

天徳二年二月十日歌合唐

徳

在来元

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

歌集

あはれなるはらけ

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

歌集

あはれなるはらけ

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

歌集

あはれなるはらけ

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ
あはれなるはらけのうらみ

散木
西川江
月一 摘

仲の御書

深 摘 洗

源仲の

月一 摘

日 後 園の業

悠々年 悠記 方 近江 園 御

白の書

行

月一 明 五

月一 摘

百首 明 五 院 御

院 御

月一 摘

院 御

若 摘

院 御

院 御

ひまの古事歌

元河内新校 躬恒

古事歌
去の野た後... 船... 元輔

古事歌
あまの... 女和二年二月五日... 家集

わりの... 白河院... 讀

あまの... 讀

あまの... 御

あまの... 所

平

あまの... 所

御

あまの... 所

あまの... 所

天保二年正月庚申... 益

續後拾春上

若菜實樹

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

あはれにさかすかすのうらみ

あはれにさかすかす

家集

日記

世

世

葉

澤若

御

ね

澤

寂

御

か

寂

た

り

猶

澤

月

日

弘治三年中務卿の歌百首 月

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

弘治三年中務卿の歌百首

信長朝臣

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

信長朝臣の歌百首

若菜 (わかざ) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

月 (つき) 夜 (よ) の 静 (しず) か さ 中 (なか) に 見 (み) る 月 (つき) の 光 (ひかり) は 心 (こころ) を 照 (て) り 照 (て) られる 心 (こころ) は 安 (やす) しい

後二位 藤原 公 (こうに二位 藤原 公)

文治三年 乙丑 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

後二位 藤原 公 (こうに二位 藤原 公)

只園社 百首 歌 (ただのん せう せう かし) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

只園社 百首 歌 (ただのん せう せう かし)

只園社 百首 歌 (ただのん せう せう かし) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

百首 歌 (せう せう かし)

後二位 藤原 公 (こうに二位 藤原 公)

續後拾春上 (つづき ちしゅう じょう) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

建保三年 乙丑 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

中御 藤原 公 (ちゅうご 藤原 公)

續後拾春上 (つづき ちしゅう じょう) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

後二位 藤原 公 (こうに二位 藤原 公)

新編 古春上 (しんぺん こしゅう じょう) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

日百首 歌 (ひせう せう かし)

新編 古春上 (しんぺん こしゅう じょう) の 花 (はな) は 春 (はる) の 風 (かぜ) に 吹 (ふ) け 散 (ち) る 花 (はな) の 散 (ち) る 姿 (すがた) を 見 (み) る 心 (こころ) は 悲 (かな) しい

百首芥川

在東の歌々 為顯御

身 ~~た~~ ~~ら~~ ~~し~~ ~~の~~ ~~神~~ ~~を~~ ~~め~~ ~~ら~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~根~~ ~~を~~ ~~あ~~ ~~ら~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

遠長八年百首歌合 後條 後條の歌

あ ~~ら~~ ~~し~~ ~~の~~ ~~名~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

信の歌 曰イ

神 ~~の~~ ~~心~~ ~~を~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

弘安二年新慈母社百首

安あつ四象 門院

ま ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

中葉 中葉

歌 御

新千賀
新後若春上

い ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

文 應 文 應 え年毎日一首中 曰イ

ま ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

百首 曰イ

ま ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

ま ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

小門院小宰お

ま ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~ ~~を~~ ~~ま~~ ~~り~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~の~~ ~~歌~~

貞永元年洞院振政歌百首

藤原門院位了

見たりとていさこのよのの物事無段主出たらしめてあつた

五十首中

位二位家隆也御

さほやちかみの蛇正人まよぬとくみりりあつた

兼久二年一回季子百首中日

物山あつたの物事ゆきとて半字信人ひたあつた

子首中

御御

物山凡春上のとくたまのくけきりやきうらんひたとらふ

若葉若りつとてかかんまの物事ひたあつた

冬新千春上りれのあつたひたとて打ひつとつひたあつた

文無えは七社百首あ葉日

物事またあつたひたとて蛇ひたのまひたのひたあつた

毎日一首中

日

里人とも葉つとつひた蛇ひたのひたあつた

文永九年毎日一首中

日

赤坂やみりしひた蛇ひたのひたあつた

正嘉二年毎日一首中

日

毎ひたよりひたのひたあつた

文永七年毎日一首中

日

里人とも蛇ひたのひたあつた

同二年 毎日一首

い
と
や
し
う
な
し
し
し
の
う
ら
ま
ぬ
の
あ
ら
り
中
ら

建長五年 毎日一首

ざ
と
ひ
と
里
人
や
野
田
の
あ
ま
は
は
ら
ん
け
し
あ
ら
り
玉
川
の
あ
ら
り

同三年 毎日一首

い
と
の
う
の
あ
ま
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

同八年 毎日一首

す
そ
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

ま
ぬ
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

同四年 毎日一首

藤原為実の巻

あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

同九年 毎日一首

ま
ぬ
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

同十年 毎日一首

あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

同十一年 毎日一首

あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

同十二年 毎日一首

あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り
の
あ
ら
り

美羅市中 人元

若十 美羅市にありりたるあひたの若菜摘

若菜摘 美人

若八 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

若六 若菜摘 美人

三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

文永八年 毎日三行令
御

夫木^弓和歌抄卷第一終

